

科学の祭典「KOYO 科学の大輪祭」開催!!

2月6日、本校のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）活動の集大成となる中高成果発表会、「KOYO 科学の大輪祭」を開催しました。生徒達はこれまで積み上げてきた探究の成果を堂々と披露しました。1年生は、身近なゴミ問題をポートフォリオにまとめ発表しました。データに基づき、自分たちの考えをしっかりと伝える基礎力を示しました。2年生は「雨粒が落ちる力で電気は作れる?」「なわとびの回転をエネルギーに変える」など、驚きのアイデアが続出。創意工夫に満ちた発電研究を、堂々としたプレゼンテーションで発表しました。3年生は「先生 VS 生成AI ～作文の半自動化に向けて～」といった時代を捉えたテーマや、「音で魚は操れるのか」という生物学への挑戦など、多岐にわたる分野で専門家顔負けの鋭い考察が披露されました。会場は、発表する生徒の熱気と、鋭い質問を投げかける聴衆の好奇心に包まれ、まさに「科学の知見が広がる一日」となりました。



体験から学ぶ人権学習

2月16日、中学2年生を対象に和歌山県聴覚障害者協会から福田美枝子会長をお招きして、手話講座を行いました。手話を交えて、あいさつや自己紹介にチャレンジしました。手話を知らなくても伝えたいというところがあれば、コミュニケーションをとる方法はたくさんあることも学びました。また、2月17日には中学1年生を対象に、和歌山県立和歌山盲学校から西岡俊明先生、平松智子先生をお招きして、アイマスク体験を行いました。目の不自由な方の生活について学んだ後、実際にアイマスクをつけたクラスメイトを誘導する体験を行いました。歩く速さや声かけなどに気づきながら、こころを込めて誘導することができました。

